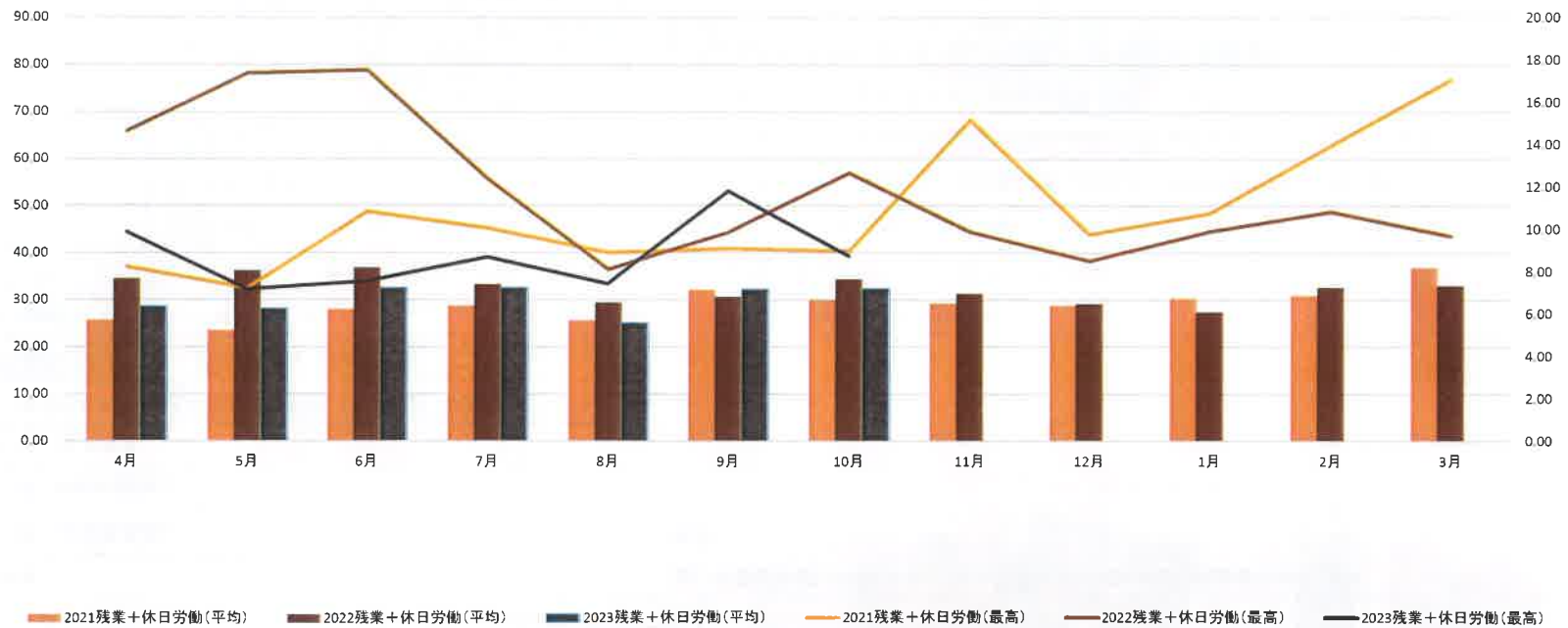


1	開催日時	11 月 15 日 (水)	13:10 ~ 13:40	6						
2	開催場所	Teams開催			産	高橋保健師・ストレスチェックの結果報告を次回の衛生委員会で説明します。				
3	委員長	■ 佐藤委員長			業					
	産業医	■ 成松産業医			医					
	衛生管理者	■ 森本委員			意					
	使用者代表	■成松産業医 ■森本委員 ■(欠席)久木野委員 ■高橋保健師(オブザーバー)			見					
	労働者代表	■桶田委員 ■(欠席)山崎委員 ■名越委員			他					
4	(1)労災・交災状況 (福岡オフィス) (2) 時間外状況			最高	単位:h	前月比	対象数 109 人 ※パート除く	7 労働災害「0時間」、通勤災害「0時間」。 その の 他 報 告 ・ 時間外最高時間の方はMECの方で33時間でした。 ・ 休日労働の最高時間は水処理課 31時間でした。 ・ 残業+休日労働の最高は無機製品課、LMプロジェクト兼務の方で、39時間でした。 ・ 残業時間+休日労働時間別30時間以上の方は無機製品課、LMプロジェクト兼務 1名。 MEC 1名。 動力課 1名。 設備技術部 1名。 水処理・ガス課(水処理)はシフト勤務のため、例月通りの時間である。 ・ 10月にストレスチェック実施しており、紙回答については個人宛返却中であと最後の一人の方は吉富工場なので時期を見て手渡しします。 ・ 傷病休業者について:病欠だった2名については今週から復職、1名は20日から復職です。 お二人とも対面で話をしましたがお元気です。膝手術した方は再手術となりました。		
			10月	累計						
		労 災	休業	0	0	残業時間			33.45	0.05
			不休業	0	0	休日労働時間			31.20	-15.10
			計	0	0	残業+休日労働			39.35	-13.85
		交 災	加害	0	0	平均				
			自損	0	0	残業時間			6.12	0.73
			被害	0	0	休日労働時間			1.07	-0.30
			計	0	0	残業+休日労働			7.20	0.03
		5	● 実績 ○ 予定							
①労災・交災状況確認の実施(上記4参照)										
②時間外状況確認の実施(上記4参照)										
5	活動状況	インフルエンザ、コロナの同時に流行しております。中でもインフルエンザの罹患者が増加しているようです。感染予防よろしくお願いたします。								
	次回	2023年12月20日(水)13:10~13:40 場所：要調整								

佐藤委員長	
成松産業医	
森本委員	
久木野委員	
桶田委員	
山崎委員	
名越委員	

前年比較（残業+休日労働時間数）



令和5年度 年末年始無災害運動実施要領

1 趣旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主催する運動で、本年度53回を迎える。

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進し、災害のない職場環境を整えるためにも、一つひとつの作業を丁寧に確認し、次の作業に備えること、そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切である。

本年8月末までの労働災害発生状況(新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除く)において、前年同期に比べて休業4日以上死傷者数は、全体で2.4%増加しており、業種別では製造業で1.9%、第三次産業で4.6%増となっている。事故の型別では「転倒」が2.6%、「動作の反動・無理な動作」で7.1%の増加が見られる。

こうした状況の中で、特に年末年始は慌ただしい中での大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増す。各事業場においては、非常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施、感染症予防を含めた労働者の健康状態の確認などに全員で取り組むことが一層重要となる。

皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、明るい新年を迎えられるよう、安全・健康への思いを新たに、本年度の年末年始無災害運動を展開することとする。

2 実施期間

令和5年12月1日から令和6年1月15日までとする。

3 運動標語

「健康と安全で 幸せつなぐ年末年始」

4 主催者

中央労働災害防止協会

5 後援

厚生労働省

6 実施者

各事業場

7 主催者の実施事項

- 1 機関誌、ホームページ等を通じての広報
- 2 報道機関等を通じての周知
- 3 リーフレット等の制作および配布
- 4 小冊子、ポスター、のぼり、デジタルコンテンツ等の頒布・配信

8 事業場の実施事項

- (1) 年末年始に実施する事項
 - 1 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
 - 2 安全衛生パトロールの実施
 - 3 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
 - 4 年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
 - 5 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
 - 6 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
- (2) 年末年始に実施状況を確認する事項
 - 1 K Y (危険予知) 活動を活用した非常作業における労働災害防止対策の徹底
 - 2 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
 - 3 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
 - 4 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
 - 5 火気の点検、確認など火気管理の徹底
 - 6 交通労働災害防止対策の推進
 - 7 過重労働をしない・させない職場環境づくり
 - 8 健康的な生活習慣(睡眠、食事、運動等)に関する健康指導などの実施
 - 9 感染症拡大防止対策の徹底
 - 10 職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進
 - 11 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
 - 12 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

主唱：中央労働災害防止協会
後援：厚生労働省

年末年始 無災害 運動

令和5年度

年末年始無災害運動標語

健康と安全で

幸せつなぐ年末年始

2023
12/1

2024
1/15

賛助会員募集中

特典

- 研修会が会員価格に
- 安全週間時などにポスター等をお届け
- 定期刊行物の配布
- 会員専用サイトによる安全衛生情報の発信

全ての働く人々に安全・健康を ~Safe Work, Safe Life~
JISHA 中災防

中央労働災害防止協会 (中災防)

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2
[TEL] 03-3452-6449 [E-mail] koho@jisha.or.jp
お問い合わせは総務部 広報課まで



年末年始の災害防止を徹底しよう！

年末年始は慌ただしく、生活のリズムも変わりやすい時期です。安全で健康に一年を締めくくり、新たな年をスタートできるよう安全衛生活動のポイントを紹介します。

非常作業時の災害を防ぐ！

大掃除などで一斉に設備を停止した上で点検や修理を行う「非常作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

事前準備

作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定などを協力会社や安全衛生担当部門から関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して調整しましょう。

作業開始前ミーティング

作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。必要な保護具の着用の確認も忘れずに。



- 1 起動スイッチ等に施錠。複数人で作業する際は各作業者が自分のキーを持つ（ロックアウト）。
- 2 暗い場所は補助照明などで適正な照度を保つ。
- 3 動力を遮断し（電源を切り）、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近くに「点検中のため操作禁止」などの表示をする。
- 4 チェックリストなどを使って漏れなく点検。指差し呼称で手順や安全の状態を確認する。

作業中に不測の事態が生じたら、作業を中断して作業指揮者に報告

合図は大きな声でハッキリと決められた方法で

作業が終了したら…

無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどをもとに戻して、作業場を整理、整備。

脚立作業のポイント



- 1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。
保護帽や保護手袋を着用する。
- 2 踏さん上で作業する際は、足を軽く開き、脚や膝を軽く天板に当てて体制を安定させる。つま先立ちも危険！
- 3 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 4 脚立は原則として2m未満のものを使う。
- 5 脚部に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止め金具を確実にロックする。

感染症予防対策の徹底

感染症拡大防止のための3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けながら、効率的に作業を進めることが大切です。



転倒に注意！

慌ただしい年末年始は、転倒などにつながる不安な行動をしがちです。また、雪や凍結した路面も注意が必要です。しっかりと対策をして、安全を確保しましょう。



チェックしてみよう！例えば…

- 通路や出入り口、階段などに物を放置していないか
- 床、通路などの水、油、粉類はその都度取り除いているか
- 安全に移動できるように、十分な明るさ（照度）が確保されているか
- 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
- 階段の滑り止めは外れていないか
- 段差のある箇所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー（標識）を掲示しているか
- 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- 転倒などを予防するための教育を行っているか

冬季の安全運転

交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返し注意喚起しましょう。

■出発前の準備

- ・目的地方面の交通情報や降雪など気象情報を収集。
- ・タイヤの摩耗状態、燃料の補給、タイヤチェーンの使い方などを事前に確認。冬タイヤでも走行困難になることがあるため、タイヤチェーンは必ず携帯する。

■「急」のつく運転を避ける

- ・急ハンドル、急ブレーキ、急発進などは、スピンやスリップの原因になる。時間と心に余裕を持って！

■凍結しやすい場所に注意

- ・橋の上、日の当たらない道路、交差点やカーブの手前などは凍結しやすいので、あらかじめスピードを落として徐行運転する。



「年末年始無災害運動」関連 中災防図書・用品



<https://www.jisha.or.jp/order/index.php>